

2025 年度大学院博士前期課程試験問題(第 2 回)

2024 年 11 月 23 日実施 [環境計画分野(配点 50 点)]

以下 1、2、3 の問いに答えなさい。

(解答用紙は、それぞれの設問に対して、必ず 1 枚ずつ使用すること。裏面まで使ってもよい)

1. 下記の 3 つのテーマについてそれぞれ 100 字程度で簡単に説明しなさい。

(配点 15 点)

1) 流域治水

流域治水について、簡潔に説明し、国内外の取り組み事例について説明する

- ・ 気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、その対策について説明
- ・ 流域協働の水災害対策 についての解答が求められる

2) グリーンインフラ

グリーンインフラの言葉の意味について説明し、世界と日本で進められている事例について説明する。

- ・ 自然環境の機能
- ・ 持続可能な国土や地域づくり
- ・ 社会資本整備手法 についての解答が求められる

3) ランドスケープ・エコロジー

ランドスケープ・エコロジーについて、簡潔に説明

「景観」という空間の諸特性を、スケール概念についての解答が求められる

2. 「農村地域における里山保全の意義」について 200 字程度で簡潔に論述しなさい。

(配点 15 点)

- ・ 里山の構造と農山村地域の現在の課題について
- ・ 日本の里山の特性や重要性について
- ・ その上で、農山村地域において里山を保全することの意義について説明

上記を正確にかつ網羅的に説明することが求められる

3. 日本の風土に合った自然再生、環境計画・設計のあり方について 400 字程度で論述しなさい。
(配点 20 点)

- ・ 風土とは何か説明（和辻哲郎の言説や日本における風土の考え方）
- ・ 風土について考えられた計画や設計のあり方について
- ・ 日本の歴史や風土を考えて設計された公園緑地の設計、地域計画の具体的な事例について

上記を正確にかつ網羅的に説明することが求められる